

参加無料!



バンドー神戸青少年科学館
夏の特別展「宇宙への挑戦」関連イベント

宇宙講演会

バンドー神戸青少年科学館では、宇宙科学・宇宙開発の専門家による講演会を開催します。最新の宇宙開発技術や宇宙像など、宇宙の今とこれからを分かりやすく紹介します。この講演会に参加すると宇宙のことがもっと知りたくなります。

時間：14:00～15:00（40分講演・20分質疑応答）

※7/25（土）のみ11:00～12:00

場所：バンドー神戸青少年科学館 新館地下ホール

定員：200名（先着順） 対象：小学生以上

7/25
(土)

日本の宇宙開発

～ペンシルロケットからはやぶさ2まで～

講師 文部科学省 宇宙開発利用課長 千原 由幸



日本の宇宙開発について、これまでの歴史とこれからの取組を紹介します。宇宙のことを詳しく知らない方でも理解できるように、「宇宙とは」、「ロケットの仕組みと働き」、「人工衛星は私たちの生活にどう役立っているのか」、「宇宙飛行士の仕事と生活」、「はやぶさ2の冒険」といったテーマについて、図や写真を用いて分かりやすく話します。

7/26
(日)

世界の宇宙開発

～切手で見える世界の宇宙観測・開発・利用のあゆみ～

講師 宇宙航空研究開発機構 国際部特任担当役 辻野 照久



1957年にソビエト連邦（現ロシア）が人工衛星スプートニク1号を打ち上げて以来、アメリカ合衆国、ロシア、欧州諸国、日本、中国、インドなどで宇宙開発が競われ、これまでに7,000機以上の人工衛星が打ち上げられました。現在では衛星通信・地球観測・測位などで実用衛星の利用は必須となっています。宇宙切手を通じてこのような世界各国の宇宙関連の活動状況をご紹介します。

8/1
(土)

月のうさぎは何さい？

～月の石の年齢の調べ方～

講師 大阪大学大学院理学研究科 教授 寺田 健太郎



みなさん、満月を見たことがありますか？私たち日本人は満月の白と黒の模様を見るとウサギを連想しますが、国によっては、カニや人間の顔など違ったものを連想するようです。ところで、あのウサギの模様は、いつどのようにしてできたのでしょうか？アポロ計画で持ち帰った月の石の分析や、探査機によるリモート観測など、最新の研究成果から分かってきた月の歴史について解説します。

8/15
(土)

ブラックホールの科学

～最新の人工衛星を使って、宇宙の進化を調べる～

講師 大阪大学大学院理学研究科 教授 常深 博



宇宙にたくさんある銀河の中には、太陽の何百万倍、いやそれ以上のとても重いブラックホールがあります。ブラックホールは何でも飲み込んでしまいますが、飲みこむ直前にはX線でたいそう明るく輝きます。夜空には星がいっぱい見えますが、目に見えない波長で調べると全く違った様相が明らかになります。講演会では、人工衛星で調べた最新の結果や、現在準備中のX線観測衛星による展望などを紹介します。

8/16
(日)

月でおこる不思議な輝き

～月をもっと知って、もっと楽しむ～

講師 神戸大学大学院 教授 伊藤 真之



みなさんなじみの深い月は、人間がおり立ったことのある地球以外のただ一つの天体です。20世紀に何度も探査機が訪れ、月のことはよくわかっていると思われるかもしれませんが、21世紀に入り、科学はこれまで考えられていたものとは違う月の新しい姿を明らかにしつつあります。講演では、月でおこる不思議な輝きの話などを含めて、科学が描く月の姿を紹介したいと思えます。

8/22
(土)

宇宙への挑戦

～宇宙を探る目の今～

講師 国立天文台 副台長 渡部 潤一



いまから400年ほど前、天体望遠鏡を手に入れた人類は、肉眼では見えない宇宙があることを知りました。それ以来、望遠鏡は大きくなり、さらなる技術革新によって、可視光だけでなく、電波や赤外線などの波長をとらえる望遠鏡も生まれました。すばる望遠鏡、アルマ電波望遠鏡、そして30m超大型望遠鏡へと進化し続ける宇宙を見る目と、その活躍による最新の宇宙像を紹介します。

8/23
(日)

新しい星を探してみよう

～デジカメ1つで誰でも始められる新天体検索～

講師 私立灘高等学校教諭・東亜天文学会総務担当理事 野村 敏郎



私が小学5年生の時に池谷・関慧星が出現しました。明け方の空に長い尾を引いた大彗星は20代のアマチュア天文家2人が発見したものでした。「自分の星を見つける！」私はこの時から新天体発見に魅せられました。慧星、小惑星、新星、超新星…なかにはデジタルカメラ1台あれば始められる検索もあります。いつの日か皆さんが発見した新天体のニュースが新聞紙面を飾る日を待っています。

8/29
(土)

科学を志す人たちへのメッセージ

～ノーベル賞・国際級研究人材の育成のために～

講師 バンドー神戸青少年科学館 館長 和田 智明



宇宙科学等を例にとりながら、研究することの意義や目的、日本の研究レベル等について解説します。また、ノーベル賞や国際級研究者が、小中高生時代に関心を持っていたかをデータをもとに解説するとともに、将来国際的に通用する研究者や技術者になるためには、どのような努力を行っていけばいいかをアドバイスします。



お申し込みは、特設サイト（6月上旬公開）または往復はがきで。

<http://kobe-kagakukan-event.com/2015summer/kouenkai/>

（6月11日（木）から受付開始 ※先着順）

BANDO バンドー神戸青少年科学館 〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-6 TEL 078-302-5177 <http://www.kobe-kagakukan.jp>